



令和4年度事例集

在宅高齢者の要介護状態改善事業

ふくおか 元気向上 チャレンジ

いきいきと心豊かに！

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、
福岡市はあなたを応援します！



お問い合わせ先

福岡市 福祉局 高齢社会部 介護保険課(重度化防止推進担当)

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1

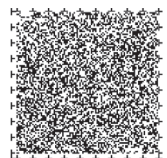
TEL 092-733-5452 | FAX 092-726-3328

✉ kaigohoken.PWB@city.fukuoka.lg.jp

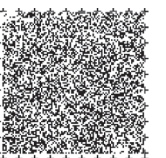
ふくおか元気向上チャレンジ [令和4年度事例集] 発行/令和5年8月



スマートフォン等のアプリ
(Uni-Voice)により、この音声
コードを読み取ることができます。



詳しくは「ふくおか元気」で検索
または QR コードから▶





「ふくおか元気向上チャレンジ」とは？

事業概要

この事業では、利用者や介護事業所を1つのチームとして、要介護度や日常生活動作（ADL）等の改善を目指していただき、そのチームとしての取り組みや成果を評価し、表彰や認証などのインセンティブをお渡しすることで、更なる重度化防止に対する意識・意欲の向上や介護サービスの質の向上に繋げていくものです。

インセンティブの内容

- 参加した利用者には記念品を、成果指標（要介護度やADL等の改善・維持）の基準を満たした優秀な介護事業所には認証を付与
 - 特に優秀なチームは、表彰を行うとともに、介護事業所へ報奨金を交付
 - そのうち、優良な取り組みは事例集としてまとめ、広く介護事業所等へ広報
- ※特に優秀なチーム（金賞）は、令和6年10月に式典での表彰を予定しております。

参加したら何をするのか

利用者の「したい」「やりたい」目標を設定します。（すでに目標を設定されている方の場合、必ずしもその目標を変更する必要はありません。）その目標の実現に向けて、利用者と介護事業所が一緒になって、要介護度や日常生活動作（ADL）等の改善に取り組んでいただきます。

「したい」「やりたい」(目標)とは何か

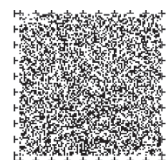
利用者が真に希望する想いのことです。

- 例
- 元気になるって遠方の家族に会いに行きたい。
 - 家族と一緒においしいものを食べたい。
 - 地域（友人）との交流を取り戻したい。
 - 以前のように趣味や買い物をしに、1人で外出できるようになりたい。



参加要件

参加には、介護事業所による所定の手続きが必要です。



利用者

- 要介護状態の改善・維持に向けた意欲のある方
 - 在宅系サービスを利用している福岡市の介護保険被保険者
 - 参加申請時点において要介護1から要介護5までの認定を受けている方
 - その他、次のいずれにも該当しない方
- ※直近の要介護認定結果と比較して、すでに参加申請時点において心身の状態に著しく改善がある方
※給付制限等の対象になっている方

介護事業所

- 在宅系サービスを提供する福岡市内に所在する介護保険指定事業所

※令和4年4月1日以降に、介護保険法に基づく勧告以上の行政指導または行政処分を受けている介護事業所は、参加できません。



評価方法

目標に向かって、改善に取り組んだ後、以下の手順で評価を行います。

1次評価

参加申請時点における直近の要介護認定結果と、取組期間終了時点における要介護認定結果を比較

1 次のいずれかの基準を満たす場合

- 要介護度の改善があった場合
- 要介護度が維持され、ADL等の項目が10ポイント以上改善した場合

2 次の基準を満たす場合

- 要介護度が維持され、ADL等の項目が0～9ポイント改善した場合

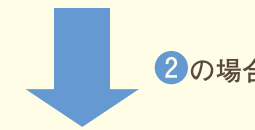
3 1、2以外の場合

※ADL等の評価指数について認定調査票におけるADLやIADLの調査35項目を用いる。

※ADL等の評価は、直近の要介護認定結果において、本市の認定調査を受けている方に限る。



1の場合



2の場合



3の場合

2次評価

要介護度やADL等の改善に至った取組内容について、評価委員会において特に優秀なチームを選定

※「利用者のQOLの確保」、「チーム連携」、「利用者や家族とのコミュニケーション」の視点に基づく評価



特に優秀なチーム



その他のチーム



金賞
(特に優秀なチーム)



銀賞



銅賞

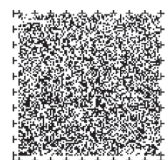
その他

ご参加いただいた方には、記念品などをお渡しします。



申込方法

福岡市介護保険課へ「参加申請書」と「同意書」の提出が必要です。





◆ 令和4年度の実施内容

令和4年6月から募集を行い、37チーム、延べ125事業所の皆様にご参加いただきました。

参加チームの皆様において令和4年12月まで要介護状態の改善に向けて取り組みを実施され、下表の結果となりました。

受賞	評価の内容		チーム数
金賞	要介護度の改善、または、要介護度の維持、かつADL等10ポイント以上の改善	特に優秀なチーム	3チーム
銀賞		上記以外	2チーム
銅賞	要介護度の維持、かつADL等0～9ポイントの改善等		4チーム
その他	上記以外		28チーム

◆ 特に優秀なチーム(金賞)の表彰式を開催!

アクロス福岡にて、特に優秀なチーム(金賞)の皆様の表彰式とタレントの西川ヘレン氏による講演会を開催!



■ 来場者の声(抜粋)



介護現場の成功事例と具体的な内容を聞くことができ、現在両親の介護にあたる身として大変参考になった。



本人の意欲がどれくらい強いかで介護度がよくなるのだと感じた。



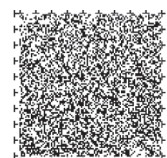
こういうイベントがあると、本人・介護する方々にやりがいが生まれると思った。



ヘレンさんのご両親への尊敬の念を強く感じた。介護にはそうした思いが大切だなと思った。



ふくおか元気向上チャレンジ、良い取り組みに感謝。自分が利用させていただく場合の参考になると思った。



◆ 参加事業所向け事例検討会を開催!

「利用者のQOLの確保」、「チーム連携」、「利用者やその家族とのコミュニケーション」の視点において、重度化防止に対する意識・意欲の向上や介護サービスの質の向上を図ることを目的に、参加事業所向けの事例検討会(多職種連携のための意見交換会)を開催!

■ 参加した事業所の声(抜粋)



基本的なことであるが、コミュニケーションが一番大切だと感じた。日頃からしっかりと他職員と会話することが円滑な情報交換にも繋がると思う。



それぞれの職種で困りごとがあることを知り、改善が必要と思った。メールやZoomなどの新たなツールの活用を上手くできるようにならないといけないと思った。



他職種への感謝の気持ちがとても大切だと改めて感じた。



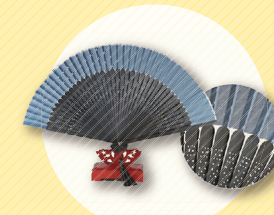
◆ インセンティブについて

参加いただいた皆様が、引き続き要介護度等の改善・維持に取り組んでいただくよう、記念品等をお渡ししました。

利用者インセンティブのご紹介



表彰状(参加の証)



扇子(記念品)



マグカップ(記念品)

■ 扇子は金賞の利用者に、表彰状(参加の証)とマグカップは、参加した皆様にお渡ししました。

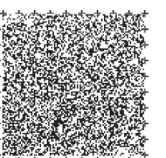
事業所インセンティブのご紹介



認定ステッカー

- 事業所の窓口等に貼って頂くためのステッカーを作成しました。
- また、希望する事業所には認証マークをデータでお渡しし、名刺や自事業所のHP等に掲載するなど、活用頂いています。

- 認定ステッカーは、金賞・銀賞・銅賞の介護事業所に、表彰状は、金賞・銀賞の介護事業所にお渡ししました。
- 金賞・銀賞・銅賞の介護事業所の情報(電話番号や住所等)を、福岡市のホームページに掲載しました。
- その他、金賞の介護事業所に報奨金(10万円)を交付しております。





左から、工藤さん、富永さん、菊武さん、白木原さん、西村さん

CASE
01

制止し過ぎないことも介護 見守り介護で活動量が増え、大きく改善！

目標 家族と一緒に暮らせること・やりがいを感じられる生活をする

取り組みのきっかけと目標

福岡市を中心に居宅介護支援サービスを手掛ける美野島ケアプランセンターは、分かち合いをモットーに利用者に寄り添ったケアを提供する事業所です。

代表の工藤さんは、利用者の声を丁寧に聞き取り、信頼を置く様々な事業所と連携しながら、利用者一人ひとりに合った最適な介護をプランニングしチームを編成しています。

今回は通所介護事業所の「ほっと・ふぁみりい」を中心に、歯科、薬局などがチームとなって「ふくおか元気向上チャレンジ」に参加しました。

チームがサポートしたのは70代前半の利用者、菊武さん。元々、転倒による腰の骨折で歩行障害があり、住宅型有料老人ホームで車椅子生活を送っていました。

しかし、チーム一体となったケアで要介護状態が徐々に改善。さらなる改善を目指し「ふくおか元気向上チャレンジ」へ参加することに。

家族想いで人の役に立ちたいという思いが強い菊武さんの性格に合わせ、「家族と一緒に暮らせること」「やりがいを感じられる生活をする」を目標に取り組みをスタートしました。



チームケア体制



利用者情報
菊武 絹子さん (71歳・女性)

要介護度 4 ▶ 2

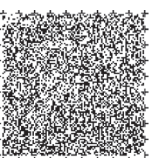
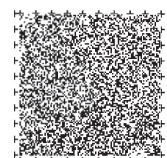
美野島ケアプランセンター
(居宅介護支援)

ほっと・ふぁみりい
(通所介護)

薬院内科循環器クリニック
(居宅療養管理指導)

きらり薬局松原店
(居宅療養管理指導)

しらきはら歯科
(居宅療養管理指導)



01 | 制止しない見守り介護で利用者の活動量がアップ！



今回のプロジェクトで大切にしたのは、菊武さんの行動を制止しない見守りの介護です。

通常、介護の現場では利用者が立ち上がった歩き出したりする際に、転倒しないようスタッフが「ちょっと

待って」と声掛けをして利用者の行動を制止することが少なくないそうです。しかし、その声掛けをあえて我慢し、菊武さんの行動を見守る介護が実践されました。「転ぶリスクを考えれば制止することは当然だと思いますが、それはあくまで介護する側の都合です。利用者からすれば、自分が動きたいときに、いちいちそれを止められていたら大きなストレスになってしまうので、必要最低限の安全を確保した見守り介護に徹しました(ほっと・ふぁみりい 介護福祉士 西村さん)」。

その結果、菊武さんの活動量が増え下肢筋力が安定。車椅子から立ち上がる場面がよく見られるまでに改善しました。

02 | スタッフの見守りでコミュニケーションにも変化が

また、今回の取り組みの中で見逃せないのが、菊武さんのコミュニケーション能力の改善です。

チームによるケアが始まった当初、菊武さんは意思疎通が難しく、ドクターから改善は期待できないだろうと言われるほどの状態でした。

しかしあるとき、ほっと・ふぁみりいでサービス利用中、世話好きな菊武さんが配膳の手伝いをしている様子をスタッフが目にします。

スタッフは菊武さんの気持ちを尊重し、その後も手伝いをしたいときは積極的に関わってもらうようにしました。

また、訪問型の歯科や薬局などを利用し、様々な事業所や職員と交流する機会が増えたことで、コミュニケーションの変化が見られるようになりました。

菊武さんの表情は明るく変わり、次第に他の利用者との交流も増えるようになりました。およそ7ヶ月間

にわたって取り組んだ結果、今では職員のちょっとした仕事を手伝うまで元気になり、2ヶ月に1度は家族の元に帰っています。

「菊武さんへの見守りの介護は、介護が難しい利用者のケアで実績のあるほっと・ふぁみりいならではのケアだと思います。そのケアにおいて、しらきはら歯科、きらり薬局などの連携が重要な役割となり大きな改善へつながったので、チームの一員に選んで良かったです(美野島ケアプランセンター 主任介護支援専門員 工藤さん)」。

当初目標に掲げた家族との暮らしはまだ実現していませんが、菊武さんとチームの挑戦はこれからも続きます。

チーム連携が
大きな
改善に！



事業所の声

ケア当初は咀嚼が難しかったため、入れ歯を提案しました。利用者の中には嫌がる方も多いのですが、菊武さんは装着に慣れるよう努力され、入れ歯が割れてしまうくらい噛む力が改善されました。(しらきはら歯科 院長 白木原さん)

コロナ禍の影響で医薬品の提供が難しい時期もありましたが、効果と副作用のバランスに注意しながら錠剤を粉薬に変更することで、菊武さんにお薬を届けられました。

(きらり薬局松原店 薬剤師 富永さん)





左から、福田さん、古川さん、倉林さん

CASE
02

自信をなくした利用者に成功体験を！ チームがひとつに。

目標 安心して好きなものを食べられるようになること・妻の介護負担を減らすこと

取り組みのきっかけと目標

回復期リハビリテーション病棟などを併設する総合病院として、医療や介護福祉の幅広いサービスを提供する桜十字福岡病院。

今回の「ふくおか元気向上チャレンジ」では、居宅介護支援や訪問看護などがスピーディーに連携できる総合病院ならではの強みが発揮されました。

チームと共にプロジェクトに挑んだのは70代後半の男性、Aさん。参加する1年前に誤嚥性肺炎を発症し急性期病院での治療後に桜十字福岡病院へ転院してきました。

「Aさんご夫婦は退院後、歩行時の転倒や飲み物を飲む際の誤嚥などが心配で、ご自宅での生活に不安を感じていらっしゃいました。そこで、当院のリハビリ支援で成功体験を積むことができれば、自信を取り戻せるのではと思い、参加をご提案しました（桜十字福岡病院ケアプランサービスセンター長 古川さん）」。

提案を快諾したAさんは「好きなものを食べられるようになる」「妻の介護負担を減らす」という目標に向かって、リハビリに取り組むことにしました。



チームケア体制



利用者情報

Aさん(77歳・男性)

要介護度 5 ▶ 2

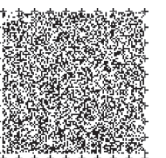
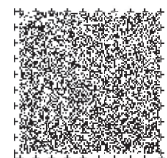
桜十字福岡病院
ケアプランサービス
(居宅介護支援)

桜十字福岡病院
訪問看護ステーション
(訪問看護)

介護老人保健施設レ・ハビリス
桜十字デイケアセンター
(通所リハビリテーション)

薬院内科循環器クリニック
(居宅療養管理指導)

大賀薬局西鉄福岡駅店
(居宅療養管理指導)

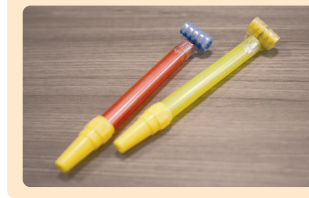


01 | 利用者の納得を大切に！丁寧な説明でリハビリをサポート

チームは早速、Aさんの支援計画を検討。**取り組みやすいメニューで成功体験を積み重ねていくプラン**を立案しました。

担当の倉林さんは嚥下可能な食材の難易度を細かく調整しながら、Aさんの**リハビリ意欲を持続**できるよう訓練を重ねました。

「難易度の調整以上に心掛けたのは、インフォームド Consent※です。Aさんはなぜこの訓練をするのか、



吹き返し

笛のおもちゃ。複式呼吸や口元の筋肉を付ける嚥下訓練用として利用。

この訓練で何がどう改善するのかといった目的を強く意識される方で、訓練前の説明の準備には時間をかけました。ときには専門書のコピーを取って訓練内容について説明することもありましたが、納得さえすれば意欲的に取り組む方だったので、リハビリは順調に進みました（桜十字福岡病院訪問看護ステーション言語聴覚士 倉林さん）。

そうしたAさんの性格に合った**効果的なアプローチ**はすぐに**チーム内でも情報共有**され、他のメンバーたちも活用しました。

多くの成功体験が自信に！



※インフォームド Consent：医療者側からの十分な説明を元に、患者側や利用者側が提供される医療サービスなどに理解、納得すること

02 | こだわりに合わせたリハビリ指導や薬の処方で大きく改善

今回、居宅療養管理指導でチームに加わった大賀薬局の福田さんもAさんに対して薬の効果や副作用について丁寧に説明。

また、飲みやすいよう錠剤を砕いたり、飲み忘れないよう日付がわかるようにしたりとAさんの**こだ**

わりに合わせた調剤を行うように努めました。

「Aさんは自分が飲む薬をご自身できちんと管理されたい希望があり、最初は細かな説明を求められました。しかし、こちらがそれに丁寧に応えていくうちに信頼をいただくようになり、最後はすべて任せていただきました（大賀薬局 薬剤師 福田さん）」。

こだわりに合わせた調剤が信頼に！



さらにチームは、歩行安定や体力向上のためのリハビリ、入浴動作や嚥下の訓練など、通所や訪問で行うメニューとは別の**自主訓練用マニュアル**も作成。

その結果、食事の準備や声掛けなど、家族の協力もあって、約半年後には嚥下難易度の高いお餅やクッキー、お刺身などが飲み込めるまでに改善。**家族と一緒に外食を楽しめるまでに向上**しました。

ご家族からは、「血圧などの管理も夫が自分のできるようになり、私の負担も軽くなった」「一緒に食事ができて嬉しい」など喜びの声も出ました。

ちなみにAさんの新しい目標は、「バスに乗って好きなところへ出掛ける」ことだそうです。



事業所の声

Aさんの飛躍的な改善には、チームの情報共有によって生まれたきめ細かな支援が大きな役割を果たしました。

Aさんとうまく信頼関係を築けたことで、本人によりフィットしたメニューを提供できたと思います。

（桜十字福岡病院ケアプランサービスセンター長 古川さん）

情報共有できめ細かな支援を！





左から、今任さん、重松さん、脇村さん

CASE
03

体より先に心が動く。 前向きな声掛けで利用者の心を動かす。

目標 ▶ 一人で歩いて近くのコンビニまで買い物に行くこと

取り組みのきっかけと目標

福岡県を中心に介護サービスを提供する麻生グループで、地域に根ざした幅広い介護を提供するアップルハート福岡東ケアセンター。

同グループ内の事業所や地場の病院との連携を活かした介護で「ふくおか元気向上チャレンジ」に挑戦しました。

利用者の70代後半の男性Bさんは、ご自宅での転倒による腰椎の骨折で入院。リハビリを経て無事に退院したものの、杖での歩行に不安があったため退院後、在宅でのケアを受けながら生活の自立を

目指していました。

「ふくおか元気向上チャレンジ」への参加はBさんとスタッフの何気ない会話からでした。

「CMで美味しそうなお酒や食べ物を見て、好きなものを自分で選んで買い物を楽しみたい」と話してくれたBさんにスタッフが参加を提案したところ、「よし、頑張ろう」と二つ返事でチャレンジすることに。

目標を「一人で歩いて近くのコンビニまで買い物に行くこと」に定め、チームの挑戦が始まりました。



チームケア体制



利用者情報

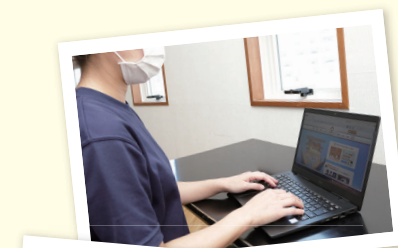
Bさん(76歳・男性)

要介護度 3 ▶ 要支援2

アップルハート
福岡東ケアセンター
(訪問介護)

アップルハート
福岡東ケアプランセンター
(居宅介護支援)

医療法人貝塚病院
通所リハビリテーション
(通所リハビリテーション)



01 | 前向きな声掛けで利用者のモチベーションを維持

リハビリ中、チームのメンバーが意識したのはBさんへのポジティブな声掛けです。

プロジェクトの参加を決意したものの、一人暮らしの不安からか、後ろ向きな発言をすることもあったBさんを一人ひとりが言葉で支えました。

「Bさんはコンビニ一人で買い物に行くことをとても楽しみにされていたので、ハードなリハビリをするときは新商品の情報をお伝えしたり、一人で

買い物に行けるようあとちょっと頑張りましょうと声掛けしたりしながら、ご本人の意欲の継続に注力しました。また、リハビリ後の振り返りでは、できなかったことではなく、

できたことを
お伝えして
ポジティブに!

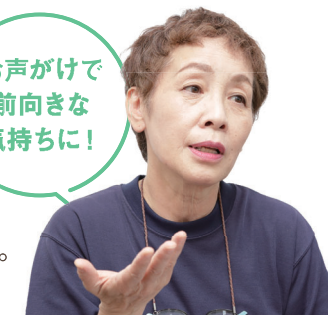


できたことを明確にお伝えして、次のリハビリにポジティブに臨めるよう心掛けました(貝塚病院通所リハビリテーション 理学療法士 重松さん)。

「Bさんと会うときは必ず笑ってもらえるよう意識しました。娘さん想いのBさんとご家族の話をしたり、早く元気になってお孫さんの面倒が見られるようになるといいですねとお声掛けしたりしたことで、Bさんの前向きな

気持ちを引き出せたと
思います
(アップルハート
福岡東ケアセンター
サービス提供責任者 脇村さん)。

お声掛けて
前向きな
気持ちに!



02 | リハビリの情報をリアルタイムで共有！最適なケアを提供



そんなチーム内のコミュニケーションツールとして今回大きな役割を果たしたのが、タブレットを使った情報共有システム。それぞれのスタッフが

持つタブレットには、日々のリハビリの進捗や課題、通院時の医師からのコメントなどが画像と共にリアルタイムで共有され、スタッフは常に最新の情報を元にBさんに適した声掛けやリハビリのケアを行うことができます。

結果、Bさんの歩行は安定し持久力もアップ。歩行訓練でいつも休憩した場所に来てもし切れすることなく、最終的にご自宅から300mほどのコンビニ一人で買い物に行けるようになりました。

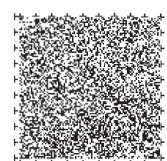
今度は公共交通機関を利用して天神に行ってみたいと日々のリハビリに力が入っているそうです。

事業所の声

どんなにいい介護サービスがあっても、利用者さんの気持ちが諦めてしまったら、体も諦めてしまいます。普段から利用者さんの心の扉を開くコミュニケーションを大切にしていますが、Bさんの改善を通して、利用者さんの体だけではなく、心を支えることも介護の重要な仕事だと再認識しました。
(アップルハート福岡東ケアセンター 管理者 今任さん)

Bさんとはお互いに好きな野球の話題でよく盛り上がりました。野球の話をするためにリハビリに通っているんじゃないかというくらい話をしましたが(笑)、リハビリ中のいいリラックスになったと思います。それがいい結果につながりました。

(貝塚病院通所リハビリテーション 理学療法士 重松さん)





令和4年度 ふくおか元気向上 チャレンジ 受賞事業所紹介

令和4年度において、利用者の要介護度等の改善・維持に取り組み、受賞された事業所を紹介します。



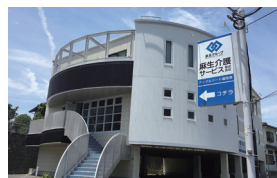
金賞事業所



アップルハート福岡東ケアセンター

訪問介護

“快適で自分らしい暮らし”のお手伝い



経験豊かなヘルパーがご家庭に伺い、自立して快適に生活するための買物、調理、洗濯、掃除、寝具のシーツ交換などを行います。また着替えのお手伝いや、食事介助、入浴介助、排せつ（おむつ交換）等、きめ細やかなサポートでお客様の暮らしを支えます。

【住所】福岡市東区唐原 1-2-42 LBビル 2F / ☎ 092-663-5761 / [法人名] 麻生介護サービス(株)



アップルハート福岡東ケアプランセンター

居宅介護支援

笑顔で、心の通った暖かいサービスをお届けします



常駐する介護支援専門員（ケアマネジャー）が、利用者様の心身の状態や生活環境をふまえ、ご本人とご家族の希望に沿った形で居宅サービス計画（ケアプラン）を作成。それに基づいて介護サービスが適切に提供されるよう、各介護サービス事業所との連絡調整を行います。

【住所】福岡市東区唐原 1-2-42 LBビル 2F / ☎ 092-672-9670 / [法人名] 麻生介護サービス(株)



大賀薬局西鉄福岡駅店

居宅療養管理指導

「ずっとこのまちで」は、大賀薬局におけるすべての店舗、すべてのサービス、そして、すべての社員が何よりも大切にしている患者様・お客様との約束です。



大賀薬局は福岡県内を中心に100店舗以上を展開し、100年以上続く歴史のある薬局です。また、当薬局は年中無休（年末年始を除く）で夜20時まで営業しており、2,300品目以上の医薬品を取り揃え様々な医療機関のご処方に対応できる体制を整えています。

【住所】福岡市中央区天神 2-11-2 M2F / ☎ 092-741-8177 / [法人名] (株)大賀薬局



介護老人保健施設レ・ハビリス桜十字デイケアセンター

通所リハビリテーション

「できない」を「できる」に、「できる」を「日常」に



当デイケアは、福岡市の中心に位置し定員110名の大規模デイケアとして地域の方々から選ばれています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の計10名を配置しており、退院直後のリハビリや認知機能に特化したリハビリを実施しています。また身体のリハビリだけでなく生活行為（日常生活動作や外出支援、買い物など）にも積極的に取り組んでいます。

【住所】福岡市中央区渡辺通 3-5-11 / ☎ 092-791-1170 / [法人名] (医)福岡桜十字



(医)貝塚病院通所リハビリテーション

通所リハビリテーション

地域の皆さまの健康を支えるために共に歩んで参ります



患者様がその人らしい自立した生活を送れるように良質で信頼されるリハビリテーションの提供に努めます。また、笑顔あふれる生活支援を目指し、笑顔を取り戻すリハビリテーションを実施します。

【住所】福岡市東区箱崎 7-7-27 / ☎ 092-632-3333 / [法人名] (医)貝塚病院



きらり薬局検原店

居宅療養管理指導

「地域に根ざした薬局」をみんなで目指しております。



私たちは企業理念である処方せん（ケアプラン）を元気に変えるため、ご自宅で安心して療養できる社会インフラを創造するため、お薬を皆様の元へ24時間365日対応、お届けいたします。

【住所】福岡市南区検原 3-2-36 / ☎ 092-555-7933 / [法人名] HYUGA PRIMARY CARE(株)



桜十字福岡病院ケアプランサービス

居宅介護支援

心地よい暮らしの架け橋、あなたの暮らしに寄り添うケアプラン



病院母体の事業所であり、事業所内は訪問リハビリ、訪問看護、訪問介護が入っており、「その人らしい暮らし」を追求するために日頃から切磋琢磨しています。

【住所】福岡市中央区渡辺通 3-3-7 2F / ☎ 092-791-1180 / [法人名] (医)福岡桜十字



桜十字福岡病院訪問看護ステーション

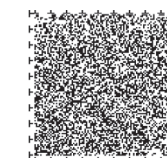
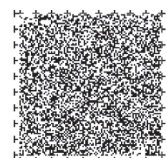
訪問看護

利用者さまとご家族の「安心」ある在宅生活を支援し、「生きる」を支えるためのリハビリテーションを提供します



利用者さま本人やご家族の思い、これまでのライフスタイルを尊重して、生活の質が向上できるように予防から看取りまでを支えます。利用者さまが生きがいや社会とのつながりを保ちながら、安全かつ安心に生活できるように支援を積極的に進めています。

【住所】福岡市中央区渡辺通 3-3-7 2F / ☎ 092-791-1180 / [法人名] (医)福岡桜十字





金賞事業所



しらきはら歯科

居宅療養管理指導

「良い歯・良い食」



快適で楽しい食生活を送れるよう患者様の心に寄り添った治療を心がけております。お身体の状態に応じ、外来・往診どちらでも対応可能です。

【住所】福岡市南区長住 4-3-8 / ☎ 092-408-2458



ほっと・ふあみりい

通所介護

「笑顔は心を結ぶ」



暮らしの中に楽しみや生きがいに満ちたその人らしい日々の生活をお手伝いさせていただきます。また、個人個人を尊重した細やかな対応と多くの目と声かけで安心と安らぎを提供いたします。

【住所】福岡市南区柳瀬 2-9-28 / ☎ 092-589-5760 / [法人名] (有)ほっと・ふあみりい



美野島ケアプランセンター

居宅介護支援

私たちは「わかちあい」を大切にしています。



利用者様の在宅での自立した生活のサポートを基本とし、利用者様一人一人の状態に応じたきめ細かいサービスを提供します。また、常に保険医療・福祉サービスに関する最新情報の収集・活用を図り、介護支援の質の向上を追求します。

【住所】福岡市博多区竹下 5-26-17-103 / ☎ 092-441-0568 / [法人名] (株)ケア美野島



薬院内科循環器クリニック

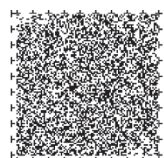
居宅療養管理指導

外来診療から訪問診療まで、スピーディーで安心して受けられる医療を提供します。



訪問診療は 24 時間 365 日、0 歳から 100 歳を超えた方まで、約 330 名の方々に対して自宅や施設に訪問しています。医師はもちろん、看護師・ソーシャルワーカー・事務・ドライバー合わせて約 30 名のスタッフが在籍しており、関係機関の方々と密に連携を取りながら、皆さまの健康と生活の質の向上を目指して、様々な活動に取り組んでいます。

【住所】福岡市中央区渡辺通 2-6-12 八千代ビル YA55 2F / ☎ 092-738-0123 / [法人名] (医)あさかぜ



銀賞事業所



アイエック訪問看護ステーション東部

訪問看護

【住所】福岡市東区箱崎ふ頭 3-3-21-1403 / ☎ 092-409-7920 / [法人名] (株)エビデンスケア研究所



(株)介助 博多営業所

福祉用具貸与

【住所】福岡市博多区吉塚 5-11-5 / ☎ 092-627-2244 / [法人名] (株)介助



ケアリングデイサービスセンター

通所介護

【住所】福岡市博多区半道橋 1-18-35 / ☎ 092-433-1777 / [法人名] (株)ケアリング



ケアリングデイサービス筥崎

通所介護

【住所】福岡市東区馬出 4-3-8 / ☎ 092-292-7666 / [法人名] (株)ケアリング



(株)ケアリング福岡支店

訪問介護・居宅介護支援

【住所】福岡市博多区千代 3-6-3 千代大学通 2F / ☎ 092-642-7888 / [法人名] (株)ケアリング



(福)ふくおか福祉サービス協会東部支部

訪問介護

【住所】福岡市博多区東光 2-8-17 古門ビル / ☎ 092-431-2444 / [法人名] (福)ふくおか福祉サービス協会



(有)プラスケア

福祉用具貸与

【住所】福岡市東区松島 3-22-6 / ☎ 092-626-8826 / [法人名] (有)プラスケア



銅賞事業所



(株)介福本舗

福祉用具貸与

【住所】福岡市西区小戸 1-16-24 / ☎ 092-985-0904 / [法人名] (株)介福本舗



香椎原病院訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーション

【住所】福岡市東区香椎 3-3-1 / ☎ 092-662-1349 / [法人名] (医)原三信病院



寿生苑介護支援事業所

居宅介護支援

【住所】福岡市西区大字田尻 2705-1 / ☎ 092-806-8822 / [法人名] (社福)今山会



多機能ケアホーム りんごの里

小規模多機能居宅介護

【住所】福岡市博多区麦野 5-13-26 / ☎ 092-581-6820 / [法人名] (社福)そよかぜの会



プロデュース(株)

福祉用具貸与

【住所】福岡市博多区東那珂 2-6-26 / ☎ 092-474-0981 / [法人名] プロデュース(株)



ベストケア・デイサービスセンター香椎下原

通所介護

【住所】福岡市東区下原 1-17-14 / ☎ 092-672-6333 / [法人名] ベストケア(株)

※事業所名等の変更があった場合、反映できていないことがあります。ご了承ください。

